

発刊によせて

子ども・若者を育成し、支援するための活動が、様々な民間の方々によって幅広く行われ、大きな成果をあげています。次代を担う子ども・若者の育成や子育て支援をめぐるには、少子化の問題、有害情報の氾濫等環境の悪化やニート、ひきこもり、不登校等の問題が複雑化していることも事実であり、こうした現状を打開することは21世紀の我が国社会の在り方に関わる重要な課題です。そのための方策を国や地方公共団体で講じていますが、実際の効果を生むためには、企業、地域社会、各種団体、家庭そして国民一人一人が互いに協力し合いながら、社会全体で取り組んでいくことが不可欠なのです。

内閣府では、子ども・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動に取り組み、顕著な功績のあった企業、団体又は個人を「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」として表彰しています。また、併せて社会貢献活動を行っている青少年自身の取組について、顕著な功績があった団体又は個人を「社会貢献青少年表彰」として表彰しています。さらに、「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」に推薦された企業、団体又は個人が行っている優れた活動を広く社会に紹介する「子ども若者育成・子育て支援活動事例紹介事業(チャイルド・ユースサポート章)」を実施しています。

平成23年は、「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」については、内閣総理大臣表彰を1企業、3団体、内閣府特命担当大臣表彰(子ども・若者育成支援部門)を11団体、5名、内閣府特命担当大臣表彰(子育て・家族支援部門)を1企業、10団体、2名が受賞し、「社会貢献青少年表彰」については、内閣府特命担当大臣表彰を11団体、2名が受賞しました。「チャイルド・ユースサポート章」については、子ども・若者を育成支援する活動から14団体、4名、子育てと子育てを担う家族を支援する活動から1企業、9団体、1名が受賞しています。本書は、これらの表彰等を受けた企業、団体及び個人の活動の内容を収録しています。

本書を通じて、子ども・若者を育成支援する活動、子育てと子育てを担う家族を支援する活動を行っている方々やこれから行おうと考えている方々の参考となれば幸いです。

平成24年1月

内閣府大臣官房少子化・青少年対策審議官

子ども若者・子育て施策総合推進室長

伊奈川 秀和